

一復第五二六號

第一復員官署一般 (用)

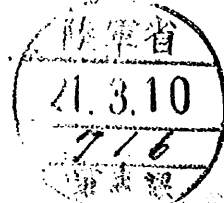
聯合軍ノ要求ニ依ル呼出旅費支給ニ
關スル件補足

昭和二十一年三月七日 第一復員省文書課長 美 山 嬰 藏

一復第四八五號ニ依ル首題ノ件ニ關シ左ノ如ク爲念補足通牒ス

一、旅費支給ハ出頭先ノ事務局ニ於テ爲サルルヲ本則トス

通牒先 部内一般



0733

一復第五〇八號

第一復員官署一般(甲)

臨時軍事費終結ニ伴フ經費支出並ニ歳入徴収要領

轉換整理ニ関スル件通牒

昭和二十一年三月六日

第一復員省文書課長美山要藏

首題ノ件ニ関シテハ左記要領ニ依リ處理スルコトニ定メラレタルニ付
區分並族ハ

進而昭和二十年陸軍普第一六〇號(大東亞戰爭ニ伴フ經費支出並
ニ歳入徴収要領ニ関スル件)ハ本年五月一日以降發止セラレタル
ニ付承知相成度

左記

第一 所屬會計區分

第一條 臨時軍事費特別會計ノ歳入歳出ハ本年三月二十八日ヲ以テ
終結スルモノトシ、三月一日以降新ニ生シタル債権債務ハ別途一般



0734

會計ヲ以テ措辦スルモノトス

第二 臨時軍事費特別會計ノ終結整理

第三條 臨時軍事費特別會計ニ屬スル歳入歳出ノ終結後ニ於ケル整理期間ハ三月三十一日迄トシ、其ノ終結ノ日以前ニ生シタル積餘債務ハ努メテ整理期間内ニ支拂又ハ收納シ出納ヲ完結スルモノトス

但シ已ムラ得サルモノ在リテハ四月三十日迄ニ其ノ整理ヲ完結セシムルコトヲ得

第三條 第一復員省(元陸軍省)ヨリ直接豫算ノ令達又ハ資金ノ前渡ヲ受ケタル部局ハ三月三十一日迄ニ臨時軍事費特別會計ニ屬スル歳入歳出ヲ決算整理スルモノトシ、最終臨時軍事費度拂計算書及歳入金額收明細書ヲ調製シ證據書類ト共ニ四月三十日迄ニ復員經濟部ニ送付スルモノトス

但シ已ムラ得サル事由ニ依リ三月三十一日以降ニ亘リ整理期間ヲ必

0735

(註)
 本條ニ添テ
 軍事費特別
 會計整理
 期間四ニ於
 テ同會計
 三編ニ於テ
 歳出ノ合入

調製シ、會計検査院ニ提出シタル最終臨時軍事費支出計算

書ヲ添ヘ五月三十日迄ニ第一役員省ニ提出(二部)スルモノトス

但シ歳出ノ支出済額中整理期間内ニ於テ主任資金前渡官吏ノ

謬州未済ニ添ル金額ハ其ノ支出済額ヨリ控除シ出納完結ノ日ニ

於テ之ヲ各支出シタル經費ノ定額ニ復活シ決算整理スルモノトス

第八條 前三條ニ依リ臨時軍事費特別會計ノ歳入歳出ノ決

算額トシテ整理シタル以外ノモノハ之ヲ逐年一般會計ノ歳入

歳出ニ編入整理スルモノトス

第三 一般會計處理

一 科目別歳入徴收官及支出官

第九條 役員省署ノ經費ハ本年三月一日以降ハ歳入歳出共一般

會計所屬トシ別紙一般會計科目解説ニ依ルモノトス

第十條 昭和三十年度ニ於ケル本省固有ノ經費ヲ除キ歳入徴收官

及支出官ハ役員省署ニ屬ス

二 豫算ノ合連及資金前渡

第十一條 復員諸費ハ總テ支ル官管理豫算トシテ復員經理

部ニ一括令達ス

復員經理部ハ前項豫算ノ經費取扱ノ爲主任資金前渡

官吏ヲ置キ主任收入官吏ヲ兼掌セシムルモノトス

第十二條 復員各官署ハ所要經費ニ付前月十五日迄翌月分

ノ科目別所要額調書(別紙様式)ヲ調製シ支拂上官ニ次員金

前渡ヲ請求スルモノトス

第十三條 前條ニ依リ資金前渡ノ請求ヲ爲シ得ルハ左記區分ニ

依ル官署ノ經費ニ限ルモノトシ當該官署ニ其ノ經費取扱ノ爲

分任資金前渡官吏ヲ置キ分任收入官吏ヲ兼掌セシムルモノトス

區

分

官

署

一 復員監部及隸下各官署ニ要スル經費

(地方官事務部ノ留守宅費金ニ要スル經費ヲ含ム)

當該復員監部

2 留弁業務部ニ要スル經費（地方世話部ニ
 移管シタル留弁宅送金ニ要スル經費ヲ除ク）
 留弁業務部
 3 復員經濟部ニ要スル經費
 復員經濟部
 4 復員經濟部出張所ニ要スル經費
 復員經濟部出張所
 5 復員通信部ニ要スル經費
 復員通信部
 6 俘虜情報局ニ要スル經費
 俘虜情報局
 7 陸軍運輸部及各補給廠等業務整理部ニ要スル經費
 陸軍運輸部業務整理部
 8 復員本省ニ要スル經費
 復員省文書課
 9 其他必要ト認マル官署ニ要スル經費
 當該官署
 第十四條 分任資金前渡官吏ノ前渡資金ヲ分割シテ取扱ハシムル
 官署ニハ分任官ヲ設クルモノトス
 第十五條 臨時軍手費特別會計ヨリ一般會計ニ轉換シタル三月分
 ノ前渡資金ニ限リ一般會計所屬ノ前渡資金ノ交付ヲ受クル迄
 之ヲ爲スルニ向テ前渡資金ハ臨時軍手費特別會計所

0739

屬ノ前渡資金ヨリ支替支辨シ置クコトヲ得

第十六條

臨時軍事費特別會計ノ決算額中整理未了ノ爲

敝會計ニ組入レ逐年之レテ整理スルコトヲ定メタルモノハ同額支出

官ニ令達アリタルモノト見做シ其ノ前渡資金モ亦主任資金前

渡官吏及従前ノ分任資金前渡官吏(分任官)ニ交付シアル

モノト見做シ處理スルモノトス

三 決算整理

第十七條

役員諸費ノ決算整理ハ毎月各節別ニ出納計算

書ヲ調整シ證據書類ヲ添ヘ分任官ニ在リテハ翌月十日迄ニ

分任資金前渡官吏ニ、分任資金前渡官吏ニ在リテハ分任官

報ノ分ヲ併算ノ上翌月二十日迄ニ主任資金前渡官吏ニ之付ス

ルモノトス

外地ヨリ帰還スル部隊ニシテ内地陸ノ際其ノ所要經費ニ付後

員經理部出張所又ハ上陸地支局ヨリ移算浸シタル場合ノ上陸

整理亦同シ

第十八條 第十六條ニ依リ一般會計ニ組入整理セラルルハ臨時軍

事實特別會計所屬資金ノ前任資金前渡官吏及前任官ハ
白己ノ未證明額ニ付從前ノ例ニ依リ別ニ決算整理スルモトス

第十九條 主任資金前渡官吏ハ前ニ條ニ依リ一般會計ニ屬スル會

及一般會計ノ歳出ニ組入レ整理スヘキ臨時軍事實特別會計ニ
屬シタル分ヲ逐月總括決算ノ其ノ合算額ニ付會計検査院

ニ證明ノ手續ヲ爲スモトス

第二十條 歳入金ノ決算整理ハ前三條ニ準シ處理スルトス

但シ主任收入官吏ハ毎年度毎一回收入金現金出納計ノ算書
ヲ調製スルモトス

第二十一條 歳入徴收官及支出官ハ其ノ所管ニ屬スル年度最終ノ

徴收報告書及決算報告書ヲ調製シ之ニ會計検査院ニ提
出シタル決算額区分表ヲ添ヘ翌年度五月三十一日ニ提出ス

0741

(註)
 本報告は支那
 官、毎月様
 式、支那海
 軍報告書に
 添付する二冊
 一冊は支那
 海軍報告書
 一冊は支那
 海軍報告書

員省ニ提出スルモノトス

前項報告ハ臨時軍事費特別會計終結ノ際未整理ニ係ル分
 ニシテ爾後逐月判明シ之ヲ一般會計ノ歳入歳出ニ組入レ整理シ
 タル歳入歳出ノ決算額ヲ合算シタルモノトス

四 報 告

第三二條 分任資金前渡官吏ヲ設置シタル官署ハ分任官ヲ設置シ
 アル隸下官署ノ分任官ハ、毎月始當該月ニ於ケルニテ見込額
 毎月末當該月ニ於ケル支拂済額ヲ各科目別ニ電報ハ在京官署
 ハ電報又ハ文書ニテ第一復員大臣ニ速報スルモノトス

附 則

第一條 昭和三十一年度以降ニ於ケル會計處理ニ別般ノ指合ナキ限
 本要領ニ依ル

第三條 本要領ニ是メナキ事項ハ一般ノ會計法規ニ據ル外陸
 軍會計事務規程同戰時特別ノ準用スルモノトス

第三條

臨時軍事費特別會計ヨリ一般會計ニ轉換ノ際

軍事費特別會計ノ整理期間内ノ經費支出區分ニ関シテハ
年二月二十八日附一後第四八二號ノ會計轉換ニ伴フ經費支出
ニ関スル件ノ是ハル所ニ依ル

第四條

本要領第十五條ニ依リ一般會計所屬經費ノ便宜臨時集

事費特別會計前渡資金ヲ以テ之ヲ替拂ヲ爲シタル場合ハ繰替拂
ノ如キ正規ノ整理ヲナスコト無ク單ナルニ替拂ヲ爲シ置キ一般會
計ノ前渡資金ノ交付ノ後々支拂ノ整理ヲ爲スモノトス

0743

渉外課

官吏以下政府職員ノ給與改善

昭和三四、四、一六

緊急措置

閣議決定

標記ノ件ニ関シテハ曩ニ本年三月廿四日閣議決定アリタルニ其後ノ情況ニ
顧ミ右決定ハ之ヲ取消シ新ニ左記ニ依リ臨時手当ヲ支給スルコトトシ以テ
官吏以下政府職員ニ対シ新物酒水準ニ應ズル收入ヲ得セラルコト
記

一、支給範囲

官吏以下政府職員ノ全部ニ対シ毎月之ヲ支給スルコト

二、支給額

俸給、給料及之ニ準ハズベキモノ、昭和十六年勅令第五百三十号ニ
依ル臨時手当、勤續手当、臨時家族手当、合計額（十円未満
ハ之ヲ切捨シ）ニ対シ左ノ割合ヲ乗ジテ得タル金額トスルコト

0745

六大都市(都)在リテハ区 ノ存スル区域)所在官 署在勤者	其他ノ市所在官 署在勤者	其他ノ地域所 在官署在勤 者
右合計額ニロロ円迄ハ一ロ 割、二ロ円以上九ロロ円迄 ハ一ロ円ヲ増ス毎ニ一介ヲ減 シタルモノ	六大都市等ノ割	六大都市等ノ割

三 施行期日

昭和二十一年三月一日以後ノ給与ニ付之ヲ適用スルコト

四

昭和二十一年四月一日以降ニ於テハ六大都市ニ準スルハキ地域ニ在ル官署又ハ
其他ノ市ニ準スルハキ地域ニ在ル官署ヲ指定シ当該官署在勤者ニ付
テハ夫々六大都市又ハ其他ノ市所在官署在勤者ニ対スル臨時半
當支給割合ヲ適用スルコトヲ考慮スルコト

0746

一復第 號

臨時手當支給規則制定ノ件第(復)官署一般へ通牒

昭和二十一年四月 22 日 復(領)

第一復員省文書課長 美山 要藏

臨時手當ノ支給ニ関シテ、各省ノ長官ニ付依命通牒ス

臨時手當支給規則

第一條 臨時手當給與令ニ依ル臨時手當ハ官吏、官吏ノ待遇

ヲ受ケル者囑託員(毎月一定ノ俸給ヲ受ケ且常時勤務ニ服スル

者ニ限ル)雇員又ハ傭人ニ之ヲ支給ス、但シ左ノ各號ノ一ニ該當

スル者ヲ除ク

一 俸給ノ支給ヲ受ケサル者

0747

二 休職（之ニ準スル場合ヲ含ム）停職又ハ待命（俸給ノ全額ヲ支給ヲ受ケ職務ニ従事ヘル者ヲ除ク）中ノ者

三 臨時ノ囑託員、雇員、傭人、但シ囑託又ハ雇傭ノ日ヨリ六月ヲニタル者ヲ除ク

四 外地又ハ外國ニ在ル者

第二條 臨時手當ヲ支給額ハ實收月額ニ應ジ在勤官署所在地ノ區域ニ從ヒ別表ノ金額トス

前項ノ實收月額ハ俸給（恩給法ニ謂フ本俸ニ準スヘキモノヲ含ム以下同シ）臨時家族手當、勤続手當及臨時物価手當ノ合計月額（十圓未満ハ之ヲ切捨ツ）ヲ謂フ

第三條 臨時手當ノ支給ヲ受クル者、退官、退職、解雇、解傭、死シタル者、死シタル者又ハ第一條第一號若ハ同條第二號ニ該當スル者、其ノ月分ノ臨時手當ハ全額ヲ支給ス

22/4

第四條

臨時手當ノ支給ヲ受ケル者 転任 転職ニ依リ其ノ屬廳ヲ異
ニスルニ至リタル場合ニ於テ必要アルトキハ關係廳ニ於テ協議スルヲ上其
新所屬廳ニ於テ之ヲ支給スルコトヲ得

第五條

前各條ニ掲ケルモノハ外臨時手當ノ支給ニ付テハ俸給支給
ノ例ニ依ル

附 則

第六條

本規則ハ昭和二十一年三月一日以後ノ給與ニ付テハ適用ス但

シ本規則到着以前ニ退官 退職 解雇 解僱ト爲リタル者ニハ三月
及四月分ノ臨時手當ハ之ヲ給セサルコトヲ得

第七條

別表備考第四號ニ依ル六大都市ニ準ズル地域及其ノ他
市ニ準ズル地域所在官署在勤者ニハ其ノ指定アリタル月ヨリ指
定アリタル地域ノ額ヲ適用ス

0749

別表 臨時手當月額表

一	甲地域上八東京都ノ區ノ存スル區域京都市大阪府神戸市前名古屋市	五二〇	三五四	二八四	二一三	二九〇	二六四	二二二	一五九	六〇	六〇	四八	三六
二	乙地域上八甲地域以外ノ市及之ニ準スル地域ヲ謂フ	五三〇	三五六	二八五	二一四	三〇〇	二七〇	二二六	一六二	七〇	七〇	五六	四二
三	丙地域上八甲及乙地域以外ノ地域ヲ謂フ	五四〇	三五七	二八六	二一五	三一一	二七六	二二一	一六六	八〇	八〇	六四	四八
四	第一號及第二號ニ依ルニ準スル地域八別ニ指定ス	五五〇	三五八	二八七	二一五	三二〇	二八二	二二六	一七〇	九〇	九〇	七二	五四
五	實收月額七五〇円以上ノ者ニ給スル臨時手當ノ額ハ該當者ノリタル場ニ 其ノ額度之ヲ示ス	五六〇	三五九	二八八	二一六	三三〇	二八八	二二七	一七三	一〇〇	一〇〇	八〇	六〇
		五七〇	三六〇	二八九	二一七	三四〇	二九〇	二三三	一七六	一一〇	一一〇	八八	六六
		五八〇	三六一	二九〇	二一八	三五〇	三〇〇	二四〇	一八〇	一二〇	一二〇	九六	七四
		五九〇	三六二	二九一	二一九	三六〇	三一〇	二五〇	一九〇	一三〇	一三〇	一〇四	七八
		六〇〇	三六三	二九二	二二〇	三七〇	三二〇	二六〇	二〇〇	一四〇	一四〇	一一二	九〇
		六一〇	三六四	二九三	二二一	三八〇	三三〇	二七〇	二一〇	一五〇	一五〇	一二〇	九六
		六二〇	三六五	二九四	二二二	三九〇	三四〇	二八〇	二二〇	一六〇	一六〇	一三六	一〇二
		六三〇	三六六	二九五	二二三	四〇〇	三五〇	二九〇	二三〇	一七〇	一七〇	一四四	一〇八
		六四〇	三六七	二九六	二二四	四一〇	三六〇	三〇〇	二四〇	一八〇	一八〇	一五二	一一四
		六五〇	三六八	二九七	二二五	四二〇	三七〇	三一〇	二五〇	一九〇	一九〇	一六〇	一二〇
		六六〇	三六九	二九八	二二六	四三〇	三八〇	三二〇	二六〇	二〇〇	二〇〇	一六七	一三五
		六七〇	三七〇	二九九	二二七	四四〇	三九〇	三三〇	二七〇	二一〇	二一〇	一七三	一四〇
		六八〇	三七一	三〇〇	二二八	四五〇	四〇〇	三四〇	二八〇	二二〇	二二〇	一八〇	一三五
		六九〇	三七二	三〇一	二二九	四六〇	四一〇	三五〇	二九〇	二三〇	二三〇	一八五	一四三
		七〇〇	三七三	三〇二	二三〇	四七〇	四二〇	三六〇	三〇〇	二四〇	二四〇	一九一	一四三
		七一〇	三七四	三〇三	二三一	四八〇	四三〇	三七〇	三一〇	二五〇	二五〇	一九六	一四七
		七二〇	三七五	三〇四	二三二	四九〇	四四〇	三八〇	三二〇	二六〇	二六〇	一九九	一四七
		七三〇	三七六	三〇五	二三三	五〇〇	四五〇	三九〇	三三〇	二七〇	二七〇	二〇二	一五二
		七四〇	三七七	三〇六	二三四	五一〇	四六〇	四〇〇	三四〇	二八〇	二八〇	二〇七	一五五
		七五〇	三七八	三〇七	二三五	五二〇	四七〇	四一〇	三五〇	二九〇	二九〇	二一〇	一五五
		七六〇	三七九	三〇八	二三六	五三〇	四八〇	四二〇	三六〇	三〇〇	三〇〇	二一五	一五五
		七七〇	三八〇	三〇九	二三七	五四〇	四九〇	四三〇	三七〇	三一〇	三一〇	二二〇	一五五
		七八〇	三八一	三一〇	二三八	五五〇	五〇〇	四四〇	三八〇	三二〇	三二〇	二二五	一五五
		七九〇	三八二	三一〇	二三九	五六〇	五一〇	四五〇	三九〇	三三〇	三三〇	二三〇	一五五
		八〇〇	三八三	三一〇	二四〇	五七〇	五二〇	四六〇	四〇〇	三四〇	三四〇	二三〇	一五五
		八一〇	三八四	三一〇	二四一	五八〇	五三〇	四七〇	四一〇	三五〇	三五〇	二三〇	一五五
		八二〇	三八五	三一〇	二四二	五九〇	五四〇	四八〇	四二〇	三六〇	三六〇	二三〇	一五五
		八三〇	三八六	三一〇	二四三	六〇〇	五五〇	四九〇	四三〇	三七〇	三七〇	二三〇	一五五
		八四〇	三八七	三一〇	二四四	六一〇	五六〇	五〇〇	四四〇	三八〇	三八〇	二三〇	一五五
		八五〇	三八八	三一〇	二四五	六二〇	五七〇	五一〇	四五〇	三九〇	三九〇	二三〇	一五五
		八六〇	三八九	三一〇	二四六	六三〇	五八〇	四六〇	四六〇	四〇〇	四〇〇	二三〇	一五五
		八七〇	三九〇	三一〇	二四七	六四〇	五九〇	四七〇	四七〇	四一〇	四一〇	二三〇	一五五
		八八〇	三九一	三一〇	二四八	六五〇	六〇〇	四八〇	四八〇	四二〇	四二〇	二三〇	一五五
		八九〇	三九二	三一〇	二四九	六六〇	六一〇	四九〇	四九〇	四三〇	四三〇	二三〇	一五五
		九〇〇	三九三	三一〇	二五〇	六七〇	六二〇	五〇〇	五〇〇	四四〇	四四〇	二三〇	一五五
		九一〇	三九四	三一〇	二五一	六八〇	六三〇	五一〇	五一〇	四五〇	四五〇	二三〇	一五五
		九二〇	三九五	三一〇	二五二	六九〇	六四〇	五二〇	五二〇	四六〇	四六〇	二三〇	一五五
		九三〇	三九六	三一〇	二五三	七〇〇	六五〇	五三〇	五三〇	四七〇	四七〇	二三〇	一五五
		九四〇	三九七	三一〇	二五四	七一〇	六六〇	五四〇	五四〇	四八〇	四八〇	二三〇	一五五
		九五〇	三九八	三一〇	二五五	七二〇	六七〇	五五〇	五五〇	四九〇	四九〇	二三〇	一五五
		九六〇	三九九	三一〇	二五六	七三〇	六八〇	五六〇	五六〇	五〇〇	五〇〇	二三〇	一五五
		九七〇	四〇〇	三一〇	二五七	七四〇	六九〇	五七〇	五七〇	五一〇	五一〇	二三〇	一五五
		九八〇	四〇一	三一〇	二五八	七五〇	七〇〇	五八〇	五八〇	五二〇	五二〇	二三〇	一五五
		九九〇	四〇二	三一〇	二五九	七六〇	七一〇	五九〇	五九〇	五三〇	五三〇	二三〇	一五五
		一〇〇〇	四〇三	三一〇	二六〇	七七〇	七二〇	六〇〇	六〇〇	五四〇	五四〇	二三〇	一五五

一 甲地域上八東京都ノ區ノ存スル區域京都市大阪府神戸市前名古屋市
 二 乙地域上八甲地域以外ノ市及之ニ準スル地域ヲ謂フ
 三 丙地域上八甲及乙地域以外ノ地域ヲ謂フ
 四 第一號及第二號ニ依ルニ準スル地域八別ニ指定ス
 五 實收月額七五〇円以上ノ者ニ給スル臨時手當ノ額ハ該當者ノリタル場ニ
 其ノ額度之ヲ示ス

様式

昭和二十一年三月分特別賞與請求書

昭和二十一年三月八日 第一復員部 諸求及受領人 復員部 清水 印

復員部賞 第一復員部賞 諸手当

一 金壹百六拾貳圓五拾錢

内 諸

基本額	賞與額	所得稅	支給額	官名	摘要
一四五〇	七二五〇	〇	七二五〇	復員部 大川平八	
九五〇	四七五〇	〇	四七五〇	合 飯 小山 武	罹災
八五〇	四二五〇	〇	四二五〇	審員 細川忠三	
三三五〇	一六二五〇	〇	一六二五〇	(合 計)	

但し昭和二十一年三月申に於ける特別賞與トシテ請求ス

尚小大川属以下 名ニ対スル所得稅ニ就テハ昭和二十一年三月八日勅令第百

二十八號ニ依リ所得稅規則改正ニ伴ヒ既ニ支給済ノ当月分俸給々料ニ対シテ所得稅過

納ノ分本書ニ於テ便宜控除整理セシム尚小徴收額ニ違ヤルニ付キ記入セズ

備考 本省賞與支弁ノ者ニ本科目ニ於テ一括請求ス

0752

様式 =

昭和二十一年三月分勤続手当支給請求書

昭和 年 月 日

第一復員省 〇〇局 〇〇課
請求人 復員局 清水 勇 (印)

① 復員諸費 第一復員諸費 俸給 (傭給)
② 復員諸費 本有費 俸給 (傭給)

一全壹百圓也

現金支給高 一全貳拾圓

小切手

号 預貯金

一全八拾圓

小切手

号

内 訳

勤続期間	改正額	支給済額	差引込給額	官 氏 名	摘 要
二六 年	八〇〇〇	〇	〇	復員局 一級 中山安兵衛	支給規則改正に依り請求金額封鎖トス
一八	四〇〇〇	二五〇〇	一五〇〇	復員局 一級 大川 幸八	
一一	二〇〇〇	一五〇〇	五〇〇	復員局 三級 太田 進一	
	一五〇〇〇	四〇〇〇	一一〇〇〇	(合 計)	

勤続手当支給規則改正に因り昭和二十一年三月分

支給トシテ請求ス 尚不所得税ハ別途 臨時手当ニ於テ便宜ニ接徴收敷

理由 (一) 内 預貯金額 (封鎖支拂) ナラズ

備考 申請書及封鎖者ハ〇印 本省費及封鎖者ハ△印 新制トシテ請求書ハ別個ニ提出ス

0753

様式二

三月分臨時手當請求並臨時家族手當追給請求書

昭和 年 月 日

第一復員省 〇〇局 〇〇課
請求及受領代人 渡辺 清 水

印

復員諸費 第一復員諸費 諸手當

一 金 壹千貳百拾八圓四拾六錢也

現金支給高	一 金 貳百拾九圓七拾錢	小切手	手	銀行預金	一 金 八百五圓八拾六錢	小切手	手
所得税	一 金 壹百參拾貳圓九拾錢	小切手	号	郵便貯金	一 金	小切手	号

内 譯

基本額	臨時額	臨時家族手當	差引額	合計	所得税	差引額	官名
本俸 四八三三三	勤続手当 一〇〇〇〇	改正額支給額 五〇〇〇	追給額 一〇〇〇	七三九六六	四五	(大五二六)	復員 一級 中山 海兵衛
四五〇〇	八七〇〇	九〇〇〇	三〇〇〇	三三九三三	四四	(二五〇七〇)	一級 大川 平八
八五〇〇	五一〇〇	一四九六〇	一四九六〇	一四九六〇	七〇〇	(一四三六〇)	職員 小山 一郎
七三三三三	二三八〇〇	一三〇〇〇	四〇〇〇	一一一八四六	一三三九〇	(八〇五八六)	(合計)

但シ三月分臨時手當、及臨時家族手當(追給)トシテ請求ス 尚ホ昭和二十一年三月八日勅令第...
手當追給ニ対スル所得税ハ便宜本書ニ於テ夫々控除及徴收整理シマリ () 四ハ封鎖支払トス

0754

備 奏 本省賞文并者。本請求書ニ於テ一括請求ス
出 示 俸 給 傷 給 ノ 別 無 一 請 求 書 ニ 記 載 ノ 事

0755

参考 科目 縣政 技 考

款 項

役員諸費 第一役員諸費

俸 給

判任官以上、
委任官支給者ニ對スル俸給、賞與、勤続手當

旅 費

第一役員省旅費規則ニ依リ支給スル一切ノ旅費

備 給

官制、支給ニ係ル
委任官、庶務、備人ノ給料、賞與、勤続手當

諸 手 當

臨時物價手當、臨時家族手當、特別賞與、臨時手當
本省費支給者ノ本費目ヨリ支出ス(但ニ物價手當ヲ除ク)

雜 費

詰切及居残食料

本省費支辨者

一般費 本省費

俸 給

判任官以上ニ對スル俸給、勤続手當

賞 與

判任官以上ニ對スル年末、年度末賞與等

諸 給 與

委任官、庶務、備人等ニ對スル俸給、賞與、勤続手當、
復官以下ノ恒例的ノ旅行ニ對スル出張旅費

物價手當

臨時物價手當

0756

注意事項

- 一 所得税ヲ徴收場合各請求書（科目別ノ章）毎ニ徴收品計算書ヲ添付ノコト 尙俸給、備給（本省管支辨者ニ於テハ諸給與）ト明記ス
- 二 封鎖支拂ハ必ズ銀行預金取ハ郵便貯金ト明記俾分スルコト 尙一請求書中銀行預金及郵便貯金ノ兩者ニ別ルル場合ハ預先及金種ヲ別記ノコト
- 三 請求金額（親金額）ハ内譯欄ノ合計金額ヲ記載ス
- 四 請求書ハ三通提出ノコト 然レ三月中新期採用者ニ就テハ臨時手當、特別賞與等總テ日額計算ニ在リ支給ス但シ十六日以降採用者ニ對シテハ特別賞與ヲ給サス第一項第一項及但書ノ場合ハ請求書備考中ニ其旨明記ノコト
- 六 金種區分表提出ノ際ハ俸給、備給何進分ト合計明記ノコト

0757

海陸等類

一 三月以前概算拂り支分出張ツケル者概ニ旅行済ノ場合ハ來ル二十二日迄至急精算ノ上返付取ハ追給整理相成候

向三月以前旅行賃他旅費木支給ノモノアレバ至急精算請求書提出相成候

二 概ニ連給済ナルモ概算拂取ハ前送拂ノ旅費ニ航チハ發令後直チニ左記要領ニ依リ出納官史宛申書提出セラレ度

封銀支拂等ノ關係上右申書ナキ場合ハ概算拂トシテ旅費前渡不能ニ付キ爲念申添フ

左記

出張(赴任)旅費申書

(一) 發令年月日 (二) 出張期間(赴任ノ場合ハ出發月日)

(三) 旅行區向 (四) 概算額 (五) 旅行者官氏名

三 二月分ニ於ケル臨時賞與ニ對スル支給額調査未提出ノ課ハ至急調査提出相成候

四 本省貸支辨者ニ對スル二月分ノ賄給與金ニ就テ返納、受領整理方官便セシモ未提出ノモノニ、三アリ至急整理セラレ度

五 爾今支拂時間ハ一時ヨリ二時午迄トス 但シ定日拂度是レニ準ズル

0758

モノ、冠ラ安スルモノ、商人協等ハ此ノ限リニアラス
 向テ支拂アル場合ハ係ヨリ給與係宛止午迄ニ通知ス
 六 出納業務ノ圓消及過誤ナキヲ期シ併セテ業務ノ参考ニ資スル爲、總
 ナ質疑事項ハ報紙ニ記載ノ上係宛照會相成度
 七 定日抑及是ニ準スル支拂請取旨ハ提出期日迄ニ確實ニ送付相成度
 爾今遅延セシ場合ハ他謀ノ迷惑及取扱銀行トノ關係其他ノ理由ヲ以
 テ支拂期日後別働ニ支拂スルコトニ定メラレタルニ付キ承知セラレ度
 八 給與係當事者出張取ハ長期不仕ノ場合ハ事前ニ其旨及代行者氏名ヲ
 當係宛通報相成度
 九 年度末整理及益償徴査ノ關係上著急ヲ要スルモノノ外當月ニ限り二
 十九日ヲ以テ支拂ヲ停止ス
 十 三十日午前十時ヨリ經理徴査實施ノ隊定ニ付キ承知相成度
 會場、徴査要目、提出書類等ニ就テハ追ツテ連絡ス

以上

0759